

vol.

107

2022

3/25 発行



いちのへ社協だより

ゆいっこ



CONTENTS

令和3年度各種会費及び募金納入実績報告	2～3	社協からのお知らせ	7
できごとフラッシュ	4～5	トピックス	8
いちのへのふくしピックアップ	6		

題号「ゆいっこ」は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。



日本赤十字社活動資金
増強運動

令和3年度も、5月を全国一斉日本赤十字社活動資金増強運動月間とし、活動資金の募集活動が展開されました。
この活動資金は、全額が日本赤十字社本社へ送金され、各種活動(災害救護活動・ボランティア支援・赤十字講習会・国際救援活動等)に充当されています。一戸町分区においても、小中学生が行う青少年赤十字活動への助成や献血活動の実施、災害時救援物資の備蓄等に役立てられています。



一戸中学校は青少年赤十字加盟校です。活動の一環として清掃も行っています。

総額 2,427,800円(前年度比△65,900円)

一般活動資金 2,364,800円	法人活動資金 56,000円	特別活動資金 3,000円	寄付金 4,000円
----------------------	-------------------	------------------	---------------

一般世帯からの500円以上2,000円未満の会費
町内企業からの2,000円以上の会費
一般世帯からの2,000円以上の会費
500円未満の寄付金



一戸町社会福祉協議会
会費募集事業

本会の会費募集は、例年8月頃に実施しております。今年度も町内外より、地域住民、法人、老人クラブなどの団体の皆さまのご協力を頂くことができました。
皆さまから納入いただいた会費は、本会の地域福祉事業(ふれあい・いきいきサロン事業助成、通院時外出支援サービス事業、長寿祝品贈呈事業、福祉教育の推進に関する事業等)の財源として活用させていただきます。



ふれあい・いきいきサロン事業(関屋地区)の様子

総額 3,621,200円(前年度比△58,000円)

世帯会費 3,099,200円	団体会費 268,000円	特別会費 196,000円	賛助会費 58,000円
--------------------	------------------	------------------	-----------------

一般世帯からの800円以上の会費
老人クラブ、民生委員児童委員協議会等の団体からの会費
特別会員になっている世帯、法人からの一口2,000円の会費
町外の団体、個人からの会費



赤い羽根共同募金運動

赤い羽根共同募金運動は、「自分の町を良くするしくみ」を作ることを目的として、毎年10月に全国一斉にスタートする募金運動です。
誰もが安心して暮らせる地域を作るため、乳幼児と子育て世代をサポートするチャイルドシート貸出事業や、地域住民同士の支え合いのためのボランティア活動保険助成事業などに活用されます。



高校生によるボランティア活動 校内募金活動に取り組んだ小鳥谷小学校のみなさん。(まるっとカフェ)の様子

総額 3,151,283円(前年度比△112,035円)

戸別募金 2,214,150円	法人募金 409,000円	大口募金 305,000円	学校募金 88,192円	職域募金 45,210円	その他窓口募金等 89,731円
--------------------	------------------	------------------	-----------------	-----------------	---------------------

一般世帯からの募金
例年2,000円以上の納入実績のある企業、小売店からの募金
例年2,000円以上の納入実績のある個人からの募金
町内小中学校全7校の児童生徒による校内募金活動
町内17の企業等による職場内募金活動



歳末たすけあい募金運動

歳末たすけあい募金運動は、支援を必要とする方々が安心して新しい年を迎えられるよう、毎年12月に行われる募金運動です。
地域の皆さまから寄せられた義援金のほとんどが、新年をあたためたい気持ちで迎えるための費用として対象世帯へ配分されました。また義援金の一部は、次年度の地域福祉活動資金に役立てられます。

歳末たすけあい義援金を受け取った方から町民の皆さまへメッセージ

長らく ありがとうございまして。
あけまして 春から 娘は 社会人 となります。 心より お礼申し上げます。

ありがとうございます。
灯油代にします

総額 3,075,929円(前年度比△43,391円)

在宅高齢者世帯 2,041,000円	生活困窮世帯 381,000円	地域福祉活動事務費 360,929円	配分事務費 128,000円	母子・父子世帯 80,000円	福祉団体等配分 60,000円
-----------------------	--------------------	-----------------------	-------------------	--------------------	--------------------

※義援金の使い道を示しています。

障がい児・者世帯
25,000円

長年の知識と経験が織りなす“技”披露 高齢者作品展覧会開催

町老人クラブ連合会（久保実孝会長）は、2月4日（金）高齢者作品展覧会を開催しました。規模を縮小しての開催となりましたが、多くの来場者が高齢者の繊細な手仕事による竹細工や手芸等のクラフト作品に魅せられていました。

本会では、障がい福祉事業の作品販売のブースを設け町内4事業所から寄せられた加工食品等を販売し、34,070円を売上しました。（売上金の内28,999円は各事業所の収益となり、5,071円は町の地域福祉事業に役立てられます。）



会場となった町文化センター軽運動場内の様子。

冬休みはスケートに挑戦 一戸南学童クラブ

一戸南学童クラブは、1月7日（金）岩手県北青少年の家でスケートに挑戦してきました。

はじめは恐る恐る滑っていた子ども、時間が経つにつれスケートリンクの中央まで行けるようになる程上達していました。

これからものびのび身体を動かし、様々なことに挑戦する機会を提供したいと思います。



スケートを楽しむ児童。

慶寿園あねたいお助け隊 町の認知症サポートを演劇で普及啓発

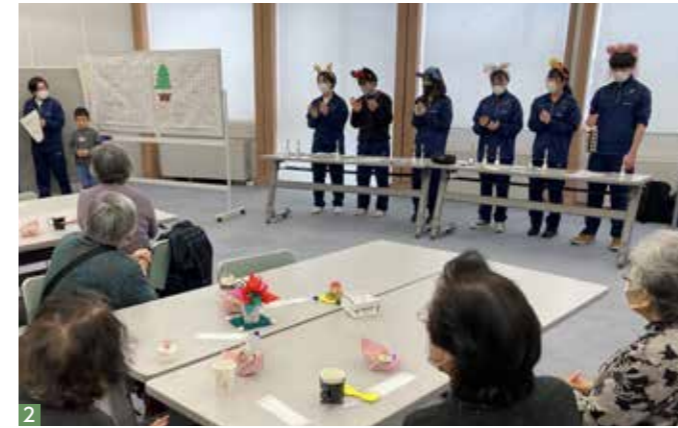
1月10日（月）、町の認知症ガイドブックの普及啓発を目的とした演劇鑑賞会が姉帯多目的集会施設にて開催されました。この事業は、社会福祉法人慈孝会（駒木弘子理事長）の職員が地域貢献活動の一環として組織する「あねたいお助け隊」が企画したものです。

当日は近隣住民13名が集い、楽しく町の認知症に関するサポート等の理解を深めました。



町の認知症ガイドブックを活用しながら演劇を披露する「あねたいお助け隊」。

一戸町認知症ガイドブック「友蔵物語」



オレンジカフェさくらの会 一戸高校生らの協力による クリスマス会開催

認知症のある方とその家族の居場所作りと認知症に関する普及啓発活動を行うオレンジカフェさくらの会（柏葉英美代表）は、12月18日（土）一戸町コミュニティセンターにてクリスマス会を開催しました。

一戸高校生とその卒業生16名程が協力し、演劇やハンドベル演奏を披露しました。参加者全員とクリスマスソングの合奏も行い、高校生らによる心温まるクリスマスプレゼントに、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

- 1 一戸弁のナレーションに合わせた演劇「長助いさんときつね」を披露する一戸高校生とその卒業生。
- 2 みんなでクリスマスソングを口ずさみ楽しみました。



豪雪地域に頼もしい雪かきボランティア 奥中山スノーバスターズ出動

奥中山中学校（後藤康校長）1、2年生で結成するスノーバスターズは、1月6日（木）と7日（金）、地域の高齢者宅合わせて8世帯を訪れ除雪活動を行いました。

除雪を通じた中学生とのふれあいを毎年楽しみにしている高齢者世帯も多く、「エネルギー溢れる中学生に元気をもらった」と喜んでいました。



除雪活動を行う奥中山中学校の生徒たち。

認知症を“体験”する VR認知症プロジェクト実施

認知症を認知症のある人の視点で捉え、どのように行動するべきかを考えるVR認知症プロジェクトは、12月14日（火）一戸町コミュニティセンターで行われました。

午前の部には一戸高校と久慈東高校の生徒を中心に、午後の部には一般住民を中心に実施し合計100名が参加して認知症への理解を深めました。



VR（バーチャルリアリティ）の技術を使って、認知症のある方の世界を体験する参加者。

社協からののお知らせ

5月は日赤活動資金増強運動月間です。

日本赤十字社では、5月を「赤十字活動資金増強運動月間」として赤十字会員の募集と活動資金へのご協力を広く呼びかけています。この活動資金をもとに、国内外での災害救護支援活動、紛争地などでの人道的支援活動を行っています。町民の皆さまのご協力をお願いいたします。

運動期間：令和4年5月1日～5月31日

会費の目安：一般会員1世帯当たり600円
特別会員1世帯当たり2,000円

納入方法：期間中各地区行政連絡員または班長が世帯を訪問し活動資金の募集を行います。

問い合わせ：日本赤十字社一戸町分区分
一戸町社会福祉協議会内
(TEL 0195-33-3385)

令和4年度各種地域福祉活動助成金・補助金申請受付中

各地域において、介護予防、住民の孤立や閉じこもり防止、住民同士の見守り合い等を目的とした地域福祉活動を行う際の各種助成金、補助金の受付を行っています。

▼ふれあい・いきいきサロン助成金

対象：町内で定期的に地域福祉活動を行う団体

申請方法：問い合わせ先に電話又は来庁後、書類により申請
※令和3年度申請団体には、事前に書類を郵送配付しています。

助成金額：1回1人あたり100円

※参加者10名の団体が月1回(年間12回)活動した場合年間助成額は、10名×12回×100円=12,000円となります。(上限なし)

問い合わせ：一戸町社会福祉協議会
(TEL 0195-33-3385)



ふれあい・いきいきサロン事業の様子

▼地域保健福祉活動支援事業補助金

対象：町内で高齢者の介護予防、閉じこもり防止活動を行う団体

申請方法：問い合わせ先に電話または来庁後、書類により申請
助成金額：補助対象経費の10分の8以内で上限30,000円

問い合わせ：一戸町福祉課
(TEL 0195-32-3700)



地域保健福祉活動支援事業の様子

令和4年度各種保険加入受付を行っています。

ボランティア活動やサロン活動、世代間交流を目的とした行事等を行う際のケガや事故等のリスクに備えた各種保険の加入受付を開始しました。申込書や保険金額等は、保険の種類によって異なりますので、下記までお問い合わせください。

保険の種類：ボランティア活動保険/ボランティア行事用保険/ふれあいサロン傷害保険/福祉サービス総合補償/送迎サービス補償

問い合わせ：一戸町社会福祉協議会
(TEL 0195-33-3385)

認知症カフェ「オレンジカフェさくらの会」のご案内

住民の元気な暮らしを支えられるよう、心の安定と安心をサポートすることを目的として、認知症の方もそうでない方も、気軽に立ち寄りお茶やコーヒーを飲みながら自由に過ごすことのできる場所です。皆さまのご参加をお待ちしています。(申込不要)

開催日：毎月第3土曜日(4/16、5/21、6/18、7/16、8/20、9/17、10/15、11/19、12/17、1/21、2/18、3/18)

※状況により変更や中止となる場合があります。

場所：一戸町コミュニティーセンター

時間：午後1時～午後3時

参加費：100円

※上記の他、地域巡回型カフェを5月から開催予定です。町広報誌、回覧板等をご確認ください。

問い合わせ：オレンジカフェさくらの会
(TEL 0195-32-3415 岩淵)



町内保育施設で働く保育補助職員を募集します

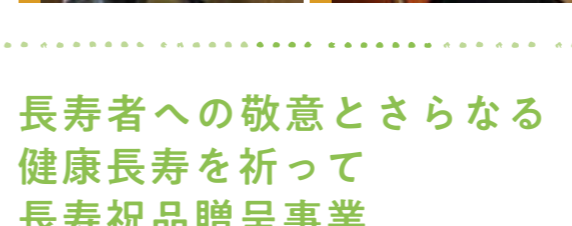
町内の認定こども園、保育所等で働く保育補助(パート)職員を募集しています。

子どもが好きな方、身体を動かすことが好きな方等…たくさんのご応募、お待ちしております。(年齢、資格不問)

日給：6,500円～

申込方法：問い合わせ先に電話又は来庁後、所定の様式により申請

問い合わせ：一戸町社会福祉協議会
(TEL 0195-33-3385)



いちのへのふくし pick up

教育と福祉 町内小学校の取り組み

本会では、町内の保育施設、小中学校、高校に通う子どもたちを対象とした福祉教育の推進に取り組んでいます。認知症に関する講座や障がい福祉施設でのふれあい体験、高齢に伴う体の不自由さの体験等、様々な角度から福祉への理解を深める機会を提供しています。

今年度は、町内小学校4校が車いす体験や高齢者疑似体験に取り組みました。講師を務めたカシオペア権利擁護支援センター小野寺幸司所長は、「体験を通じて相手の立場になって考えること、そして相手のために自ら行動してほしい」と子どもたちへ伝えました。

- 1 カシオペア権利擁護支援センター小野寺所長による講義。
- 2 高齢者の動きにくさを体験する奥中山小4年生。
- 3 町内の小学校で唯一身障者用トイレがある一戸南小での車いす体験。
- 4 白内障の疑似体験で教科書を読む一戸小4年生。
- 5 鳥海小3～4年生は職員室内の車いすの自走に挑戦。



長寿者への敬意とさらなる健康長寿を祈って 長寿祝品贈呈事業

一戸町では今年度、18名の方が100歳以上のお誕生日を迎えられました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、対象となる長寿者に直接お会いしお祝いすることがほとんどできませんでしたが、ご家族や入所する施設職員を通じて長寿祝品を贈呈させていただきました。

多年にわたる地域貢献に敬意を表し、これからもさらなる健康長寿をお祈りいたします。



昨年5月10日に100歳のお誕生日を迎えられた三角ナミ様(袋町)。

令和3年度 長寿祝品贈呈事業対象者(順不同)

100歳

平船邦男様(小井田)、三角ナミ様(袋町)、柴田タマ様(悪戸平)、小濱アキ様(面岸)、道地ヨシへ様(道地)、中瀬ツヨ様(中瀬)、田畑ヨコ様(野田)

101歳

土川夕ヨ様(小友)、米田ハナ様(中田)、荒屋敷ハナ様(月館)、中崎貞子様(北館)、川岸ヨネ様(北館)、坂タツ様(駅前)、中嶋トミ様(奥中山)

102歳

神田祝子(奥中山)、稲森富藏様(諏訪野)

103歳

下村サキ様(出ル町)

104歳

上平スエ様(仁昌寺)

各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	くらしの相談窓口	ふれあい相談
開催日	4月12日(火) 4月26日(火)	4月19日(火)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)
	5月10日(火) 5月24日(火)	5月17日(火)		
	6月14日(火) 6月28日(火)	6月21日(火)		
	7月12日(火) 7月26日(火)	7月19日(火)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	8:30～17:15	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 0195-23-5800※要予約		二戸市総合福祉センター TEL 0195-43-3588	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉センター内) TEL 0195-33-3385

表紙の紹介

2月1日に、100歳のお誕生日を迎えられた田畑リヨさん(野田)。可愛らしい笑顔と着物が良くお似合いの田畑さん。現在も元気にご自宅で生活されています。いつまでもお元気で。(関連P6下段)



災害義援金募集のお知らせ

社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金会や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々に届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。

- ・ウクライナ人道危機救援金
(受付期間：令和4年5月31日まで)
- ・令和3年7月大雨災害義援金(配分先：広島県)
(受付期間：令和4年3月31日まで)
- ・令和3年8月大雨災害義援金(配分先：福岡県・佐賀県・長崎県・広島県・長野県)
(受付期間：令和4年3月31日まで)
- ・令和3年長崎県茅野市土石流災害義援金(配分先：長野県茅野市)
(受付期間：令和4年3月31日まで)
- ・令和2年7月豪雨災害義援金(配分先：福岡県・熊本県)
(受付期間：令和4年3月31日まで)
- ・平成30年7月豪雨災害義援金(配分先：広島県・岡山県)
(受付期間：令和4年6月30日まで)

その他、国外義援金についても受付しております。一戸町社会福祉協議会(TEL 0195-33-3385)までお問い合わせください。

読者プレゼント

本誌への感想や当協議会への意見など、アンケートに答えていただいた方の中から抽選で3名の方に一戸町の特産品(1,000円相当)をプレゼントします。

応募を希望される方は、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤本誌への感想や当協議会に対する意見などを明記の上、はがきまたはメールにて編集係までお送りください。発表は、発送をもって替えさせていただきます。

応募方法

▶ はがき

〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2
一戸町社会福祉協議会「広報ゆいっこ編集係」

▶ メール

ichinohe-shakyo@themis.ocn.ne.jp

編集後記

数日前、自宅前の馬淵川から白鳥が北へ帰って行く姿を見て(この原稿を書いているのは3月1日です)長い冬の終わりを知り、それと同時に「令和3年度も終わりか…」としみじみ1年を振り返る自分がいました。

気が付けば後ろを見る間もなく走り抜けた1年で、住民の皆さまに失礼なことはなかっただろうか、関係機関の皆さまへの対応はどうだったか、今更ながら反省しているところです。

4月からは心機一転気持ちを持ち替えて、落ち着いて(!?)丁寧な仕事ができるよう心がけたいと思います。1年間ゆいっこをご覧いただき、ありがとうございました。(小野寺)

社会福祉法人 一戸町社会福祉協議会

〒028-5312
一戸町一戸字砂森93-2
(一戸町総合保健福祉センター内)
TEL 0195-33-3385
FAX 0195-33-2737
ホームページ
<https://ichinohe-shakyo.jp/>

